

## 林業を学ぶ高校生のインターンシップを行いました

(徳島森林管理署)

徳島森林管理署では、11月16日から17日、徳島県立那賀高校「森林クリエイト科」2年生2名(男女各1名)のインターンシップを行いました。

県立那賀高校は、昭和48年に林業科の生徒募集を停止して以来、平成28年4月に「森林クリエイト科」を設置し、現在、1、2年生39名の生徒が林業を学んでいます。

インターンシップに徳島森林管理を選んだ生徒2名は、緊張した面持ちで、那賀高校がある徳島県那賀町にある徳島森林管理署阿津江治山事業所を訪れました。

初日には、四国森林管理局、徳島森林管理署の業務などについて学びました。また、インターンシップに参加した生徒が将来、林業職の公務員を目指していることもあり、林野庁の採用状況や、過去の公務員試験(林業職)についても学びました。生徒は、職員からの説明の耳を傾け、熱心にメモを取っていました。また、生徒から、疑問に感じたことについて、鋭い質問が出されました。



熱心に説明を聞く生徒



疑問点は質問しました

2日目は、研修フィールドを事務所から国有林に移し、実際に職員が日頃行っている業務を体験してもらいました。

まずは、森林調査業務の中の測樹です。目測と実際に測った樹高の違いに驚き、次に隣接する民有林との境界を測量機器を用いて、境界付近にある境界標を見いだす作業の体験では、コンパス測量器の設置に苦労したようでした。



木の高さを測りました(測樹)



民有林との境界を確認しました  
(コンパス測量)

現場での体験を終え、事務所に戻った生徒からは、満足した表情がうかがえました。

徳島森林管理署では、引き続き、インターンシップ、那賀高校への森林環境教育(出前講座)などを通じた担い手対策を支援していくこととしています。

(担当：署長)